

区民の皆さまと協力して「つながるまち、ひろがるまち名東」の実現をめざし、区の特徴に応じたまちづくりをすすめるため、平成30年度に取り組む新規・拡充事業などをご紹介します。

テーマ
5

にぎわい・交流・地域づくり ⑦

ウェルカム名東転入者応援事業

新規

『名東区は転入者が多く、若い人が住むまち』という特性をとらえ、新しく仲間となった転入者を歓迎し、新たなつながりが生まれるよう応援するため、地元子ども達が元気に活躍する子どもミュージカルへ招待し、区の魅力や地域などに関する情報や、区民同士の交流の機会を提供します。



目標

「よかった」と回答する来場者の割合
80%

担当部署：企画経理室、地域力推進室
区の特徴に応じたまちづくり事業予算：1,000千円
(うち、区まちづくり基金 250千円)

名東区の特徴(平成29年データ)

転入者が多い 転入者数は人口の7.5%(12,518人)
特に、15歳未満の転入者が市内で1番多い
(2,293人)

若いまち 平均年齢が市内で1番若い(43.3 歳)

テーマ
5

にぎわい・交流・地域づくり ⑧

歴史と伝統文化にふれる！ おやこ茶華道体験 in 蓮教寺

新規

平成29年5月に区内初の国登録有形文化財に選ばれた蓮教寺で、小学4～6年生の親子を対象に歴史的建造物や伝統文化の華道・茶道にふれる機会を提供し、歴史・文化の理解の促進と次世代への継承をはかります。



目標

参加者数 20組

担当部署：地域力推進室
30年度自主的・主体的予算：284千円

テーマ
2

快適な自然環境・都市環境 ④

植田川 秋のコリンピック2018

継続

身近にあり、魅力のある植田川に親しんでもらうため、子どもをはじめ区民が楽しめるゲームやクイズなどの各種競技を、植田川沿いの樹木が美しく紅葉する秋の時期に市民活動団体と協働で開催します。

コリンピックはオリンピックのミニチュア版という意味の造語です。

目標

- 参加者数 200人
- 参加者の満足度 80%

担当部署：土木事務所
30年度自主的・主体的予算：200千円



テーマ
3

安心・安全で健康な生活 ⑨

めいとう総合見守り支援事業



「めいとう総合見守り支援事業」とは、

高齢者などの災害時に支援を必要とする方々が、自身に関する要支援情報を学区(団体)連絡協議会などの地域の支援者に提供することを同意した場合に、これらの支援者が日ごろの見守り活動とともに、災害時に「共助」による迅速な安否確認や避難支援が現実的に行えるようにする名東区独自のしくみのことです。

平成30年度中に全学区で事業展開し、各地域において事業周知・申込者募集・個別支援計画策定・要支援情報の更新を定期的に行い、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えます。

目標

事業の実施学区数 19学区

担当部署：総務課、福祉課、保健予防課、消防署、
社会福祉協議会
30年度自主的・主体的予算：合計427千円

実践的救援訓練

災害時に要支援者の避難支援が行えるよう、車いすなどを用いた実践的な救援訓練を実施します。



安否確認札

避難済みなどすでに支援を要さない世帯であることを表示する『安否確認札』を要支援者に配布します。



目標

実践的な救援訓練の実施 16学区

テーマ
2

快適な自然環境・都市環境 ⑫



ペットと暮らすきれいなまちづくり

区内で重点学区を定め、保健環境委員をはじめとする地域の皆さまと協働してパトロールを実施するなど、学区全体でペットの正しい飼い方についての意識向上をはかります。



目標

- 猫の身元表示用迷子札(ペンダント)の配布数 200個
- 犬のふん害防止巡回パトロール 5回

担当部署：健康安全課
30年度自主的・主体的予算：356千円

テーマ
4

高齢者・障害者等の支援・福祉 ⑫



授産製品の販路拡大

障害者の生きがいと収入確保につなげるため、授産製品のカタログを配布するほか、区役所・区内公共施設で授産製品の紹介パネルなどを展示し、製品の販路拡大を支援します。



カタログ「ハートリンク」

目標

- 区役所などでの展示日数 延べ100日
- 区役所での販売日数 延べ205日

担当部署：福祉課
30年度自主的・主体的予算：368千円